

各位

日臨技会長候補者選挙立候補者 長沢光章からのお願い



私は、職能団体として「学術の強化と次世代へ繋ぐ」を公約に、現執行体制の発展的継続を目指し、会員の皆様と共に新しい流れを作っていくために、日臨技首都圏・関甲信支部の1都8県からの推薦を得て、令和6・7年度会長候補者として立候補いたしました。

私は、会員や関連団体の方々、臨床検査医の先生方とも一緒になってこの業界のために力の限り尽くしていこうと日頃より考え実行しております。

どうか、私に皆様の貴重な一票を投票してください。よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 代表理事・副会長 長沢 光章

日臨技首都圏支部・関甲信支部は長沢光章氏を推薦します

私ども日臨技首都圏支部・関甲信支部は、所属する1都8県臨床検査技師会との合意で、令和6・7年度日臨技会長候補者として長沢光章氏を推薦しました。

- ・現在、執行部で次年度事業計画を立案中である。これは、第四次マスタープランの成果を検証しつつ、第五次マスタープランとして次の日臨技の方向性を決める重要なものであり、一年、二年で成しえるものではない。よって、計画の責任者である宮島会長の意を十分に理解し継続して共に歩んできた現日臨技代表理事副会長である長沢光章氏が受け継がなければ計画が絵に描いた餅で終わる可能性が高い。
- ・臨床検査技師の地位向上のため、また、臨床検査技師を取り巻く環境が厳しさを増す未来医療の中で力を発揮していくには更なる法改正や診療報酬の改定が必要となる。それには日本臨床検査技師連盟の代表であり、日臨技の諸活動に理解を示し強力な支援並びに助言を頂ける日本臨床検査医学会をはじめとする他関連団体との連携を推進してきた長沢光章氏の存在が重要である。
- ・IFBLS学会の誘致が決定した中で、日臨技の組織力を海外に説明し、IFBLSの全ての理事の賛同を得ることに成功した中心人物である長沢光章氏が、開催までの牽引者にならなければ世界に顔向けができない。

以上のような理由から、次期会長に相応しい人物として、現日臨技代表理事副会長である長沢光章氏を推薦します。

日臨技首都圏支部（杉岡 陽介 支部長）／東京都（原田 典明 会長）・神奈川県（芹澤 昭彦 会長）
千葉県（綿引 一成 会長）
日臨技関甲信支部（林 和樹 支部長）／埼玉県（神山 清志 会長）・茨城県（根本 誠一 会長）
栃木県（内田 雄二 会長）・群馬県（井田 伸一 会長）
山梨県（多田 正人 会長）・長野県（中山 朋秋 会長）

私たちも長沢光章氏を推薦します

- ・坂本 秀生（日本臨床検査学教育協議会 理事長）
- ・宮本 仁志（日本臨床微生物学会 副理事長）
- ・常名 政弘（日本検査血液学会 副理事長）
- ・宿谷 賢一（日本臨床一般検査学会 常務理事）
- ・清宮 正徳（日本医療検査科学会 副理事長）
- ・奥田 誠（日本輸血・細胞治療学会 理事）
- ・堀田多恵子（全国国立大学臨床検査技師会 会長）
- ・小野 佳一（同 副会長）
- ・宮城 博幸（私立医科大学臨床検査技師会 会長）
- ・山口 佳美（日本赤十字社臨床検査技師会 会長）
- ・野瀬 和彦（同 副会長）
- ・上田 克彦（チーム医療推進協議会 代表、日本診療放射線技師会 会長）

★その他、多くの会員、臨床検査医の先生方、関連団体等の皆様からも推薦をいただいております。